

## 4-4. 地区別現況と課題

## 4-4-1. 寒河江(1)地区

## 寒河江(1)地区の概要

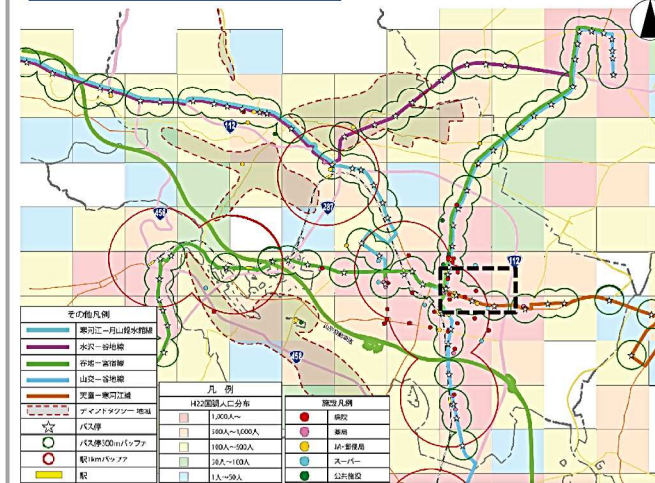
総人口(市全体に占める割合)	11,801人(27.8%)	総世帯数(市全体に占める割合)	3,938世帯(29.2%)		
介護認定者数(当地区に占める割合)	469人(4.0%)	独居老人世帯数(当地区に占める割合)	368世帯(9.3%)		
身障・療育・精神手帳所持者数(当地区に占める割合)	558人(4.7%)	市平均:4.5%	市平均:7.7%		
主要施設	マックスバリュ東北寒河江中央店、おーぱん寒河江店、ヤマザワ寒河江プラザ				
買い物	マックスバリュ東北寒河江中央店、おーぱん寒河江店、ヤマザワ寒河江プラザ				
病院	菊地医院、豊岡整形外科、国井医院、小松医院				
金融機関等	荘内銀行寒河江支店、山形銀行寒河江支店、山形銀行寒河江中央支店、きらやか銀行寒河江支店、山形信用金庫寒河江支店、寒河江郵便局				
公共施設	寒河江市役所、フローラSAGAE、ハートフルセンター				
学校	寒河江小学校				
その他	-				
公共交通機関	種別	路線名	運行主体	平日	土日
路線バス	鉄道	JR左沢線	JR東日本	36	36
	路線バス	谷地-宮宿線	山交バス	14	8
		山交-谷地線	#	48	25
		天童-寒河江線	天童市(市営バス)	13	13

・当該地区は寒河江市の中心部に位置し、総人口は全地区中最も多く、公共施設や商業施設、病院等も多く立地する。

・独居老人世帯数が市平均より高く、全世帯の約1割程度を占める。

・公共交通機関が充実しており、寒河江駅、西寒河江駅を中心とした鉄道のほか、寒河江バスターミナルを中心にして放射状にバス路線が展開している。

## 寒河江(1)地区の位置図



## 地区別アンケート調査結果

目的	目的地(市内)	目的地(市外)	頻度		時間帯				交通手段	
			全体	65歳以上	全体		65歳以上		全体	65歳以上
			出発	帰宅	出発	帰宅	出発	帰宅	出発	帰宅
買物	マックスバリュ(56.0%) ヤマザワ(53.3%) 【N=75】	イオン天童店(21.2%) 山形市(17.3%) 【N=52】	週3~4回(34.7%) 週1~2回(33.3%) 【N=75】	ほぼ毎日(29.0%) 週3~4回(29.0%) 【N=31】	10時台(24.0%) 11時台(9.3%) 【N=75】	11時台(17.3%) 12時台(12.0%) 【N=75】	10時台(48.4%) 9時台(6.5%) 【N=31】	11時台(29.0%) 16時台(16.1%) 【N=31】	自家用車(自分で運転)(78.7%) 自転車・徒歩(9.3%) 【N=66】	自家用車(自分で運転)(67.7%) 自転車・徒歩(16.1%) 【N=31】
通院	寒河江市立病院(25.0%) 小松医院(11.1%) 【N=36】	山形県立河北病院(17.4%) 山形県立中央病院(17.4%) 【N=23】	月1回(66.7%) 【N=36】	月1回(77.3%) 【N=17】	9時台(22.7%) 8時台(13.6%) 【N=44】	11時台(20.5%) 12時台(20.5%) 【N=44】	10時台(48.4%) 16時台(17.9%) 【N=28】	11時台(25.0%) 17時台(21.4%) 【N=28】	自家用車(自分で運転)(68.2%) 自家用車(家族の送迎)(11.4%) 【N=44】	自家用車(自分で運転)(64.3%) 自家用車(家族の送迎)(14.3%) 【N=28】
通勤	寒河江(11.8%) 柴橋(11.8%) 【N=17】	山形市(43.5%) 天童市(13.0%) 【N=23】	ほぼ毎日(80.0%) 【N=40】	ほぼ毎日(75.0%) 月に数回(25.0%) 【N=4】	8時台(45.0%) 7時台(32.5%) 【N=40】	18時台(32.5%) 19時台(25.0%) 【N=40】	9時台(50.0%) 6時台(25.0%) 【N=4】	18時台(50.0%) 20時台(25.0%) 【N=4】	自家用車(自分で運転)(80.0%) 自転車・徒歩(7.5%) 【N=40】	自家用車(自分で運転)(75.0%) 鉄道(乗り継ぎ)(25.0%) 【N=4】

【参考:市平均】  
65歳以上の交通手段  
●自家用車(自分で運転)  
買物時:54.9%  
通院時:47.9%  
●自家用車(家族の送迎)  
買物時:16.4%  
通院時:20.2%  
●自転車・徒歩  
買物時:8.9%  
通院時:2.3%

(N=213)

## アンケート調査における意見・要望等

- ・特に冬の期間には、市内循環の路線バスがあれば良い。
- ・歩行困難な高齢者に対し、タクシー券の配布を行ってほしい。
- ・バスも電車も1時間に1本しかなく、目的地に目的の時間に到着できない。
- ・JR左沢線の終電時間が早く、飲酒した帰りの手段が無く不便。
- ・鉄道から路線バスへの乗り継ぎが出来ないため利用がしづらい。

## 意見交換会における意見・要望等

- ・当該地区は商店等があり、バス通りでもある中央通りに比較的近く、歩けなくはない。
- ・病院は中央通り付近へ行く事が多い。
- ・買物は同居の家族が徒歩圏外のスーパーですませてくる。
- ・石持付近から最寄のスーパーまで歩くと40分程度かかるため、容易ではない。
- ・石持付近から中心市街地までタクシーを利用すると、800~1000円程度かかる。

## 当該地区における課題

- ・寒河江市の中心部であるため、スーパー、病院、その他機能等は地区内に充実しているが、独居老人世帯数が高く、高齢者の移動手段に対するケアが必要。
- ・複数のバス路線や鉄道など、公共交通機関が充実しているが、交通手段は全体の約8割及び65歳以上の約7割は自家用車(自分で運転)であり、公共交通への依存度は低い。

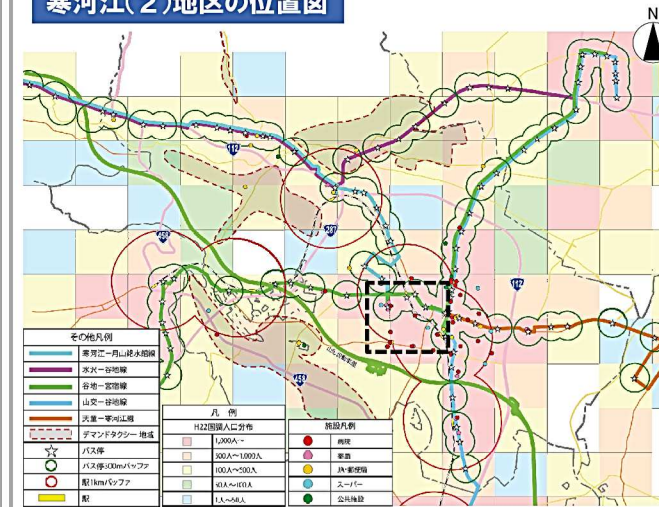
4-4-2. 寒河江（2）地区

寒河江(2)地区の概要

総人口(市全体に占める割合)	6,805人 (16.0%)	総世帯数(市全体に占める割合)	2,303世帯 (17.1%)
介護認定者数 (当地区に占める割合)	264人 (3.9%) 市平均:4.5%	独居老人世帯数 (当地区に占める割合)	160世帯 (6.9%) 市平均:7.7%
身障・療育・精神手帳所持者数 (当地区に占める割合)	297人 (4.4%) 市平均:5.1%		
<b>主要施設</b>			
買い物	マックスバリュ寒河江西店、フードセンターたかき元町店、ヨークベニマル寒河江店、		
病院	寒河江市立病院		
金融機関等	山形銀行寒河江中央支店、寒河江郵便局、きらやか銀行若葉町支店、山形信用組合寒河江支店		
公共施設	-		
学校	寒河江工業高校、寒河江高校、陵南中学校、寒河江中部小学校		
その他	-		
<b>公共交通機関</b>			
種別	路線名	運行主体	平日 土日
路線バス	JR左沢線	JR東日本	26 26
	寒河江一月山銘水館線	山交バス	12 5
	谷地-宮宿線	〃	14 8
	山交-谷地線	〃	48 25

- ・当該地区は主に寒河江駅の東側の町丁により形成される。
- ・寒河江(1)地区と同様に寒河江市の中心部に位置し商業施設等が多く立地。
- ・公共交通機関が充実しており、寒河江駅、西寒河江駅を中心とした鉄道のほか、寒河江バスターミナルを中心にして放射状にバス路線が展開している。

寒河江(2)地区の位置図



地区別アンケート調査結果

目的	目的地(市内)	目的地(市外)	頻度		時間帯				交通手段	
			全体	65歳以上	全体		65歳以上		全体	65歳以上
買物	マックスバリュ (56.0%) ヤマザワ (53.3%) 【N=75】	イオン天童店 (21.2%) 山形市 (17.3%) 【N=52】	週3~4回 (34.7%) 【N=75】	ほぼ毎日 (29.0%) 【N=31】	10時台 (24.0%) 11時台 (9.3%) 【N=75】	11時台 (17.3%) 12時台 (12.0%) 【N=75】	10時台 (48.4%) 9時台 (6.5%) 【N=31】	11時台 (29.0%) 16時台 (16.1%) 【N=31】	自家用車(自分で運転) (78.7%) 自転車・徒歩 (9.3%) 【N=66】	自家用車(自分で運転) (67.7%) 自転車・徒歩 (16.1%) 【N=31】
			週1~2回 (33.3%)	週3~4回 (29.0%)	9時台 (22.7%) 8時台 (13.6%) 【N=44】	11時台 (20.5%) 12時台 (20.5%) 【N=44】	9時台 (25.0%) 16時台 (17.9%) 【N=28】	11時台 (25.0%) 17時台 (21.4%) 【N=28】	自家用車(自分で運転) (68.2%) 自家用車(家族の送迎) (11.4%) 【N=44】	自家用車(自分で運転) (64.3%) 自家用車(家族の送迎) (14.3%) 【N=28】
通院	寒河江市立病院 (25.0%) 小松医院 (11.1%) 【N=36】	山形県立河北病院 (17.4%) 山形県立中央病院 (17.4%) 【N=23】	月1回 (66.7%) 【N=36】	月1回 (77.3%) 【N=17】	8時台 (45.0%) 7時台 (32.5%) 【N=40】	18時台 (32.5%) 19時台 (25.0%) 【N=40】	9時台 (50.0%) 6時台 (25.0%) 【N=4】	18時台 (50.0%) 20時台 (25.0%) 【N=4】	自家用車(自分で運転) (80.0%) 自転車・徒歩 (7.5%) 【N=40】	自家用車(自分で運転) (75.0%) 鉄道(乗り継ぎ) (25.0%) 【N=4】
			週3~4回 (34.7%)	ほぼ毎日 (75.0%) 月に数回 (25.0%) 【N=4】	8時台 (45.0%) 7時台 (32.5%) 【N=40】	18時台 (32.5%) 19時台 (25.0%) 【N=40】	9時台 (50.0%) 6時台 (25.0%) 【N=4】	18時台 (50.0%) 20時台 (25.0%) 【N=4】	自家用車(自分で運転) (80.0%) 自転車・徒歩 (7.5%) 【N=40】	自家用車(自分で運転) (75.0%) 鉄道(乗り継ぎ) (25.0%) 【N=4】
通勤	寒河江 (11.8%) 柴橋 (11.8%) 【N=17】	山形市 (43.5%) 天童市 (13.0%) 【N=23】	ほぼ毎日 (80.0%) 【N=40】	ほぼ毎日 (75.0%) 月に数回 (25.0%) 【N=4】	8時台 (45.0%) 7時台 (32.5%) 【N=40】	18時台 (32.5%) 19時台 (25.0%) 【N=40】	9時台 (50.0%) 6時台 (25.0%) 【N=4】	18時台 (50.0%) 20時台 (25.0%) 【N=4】	自家用車(自分で運転) (80.0%) 自転車・徒歩 (7.5%) 【N=40】	自家用車(自分で運転) (75.0%) 鉄道(乗り継ぎ) (25.0%) 【N=4】
			週3~4回 (34.7%)	ほぼ毎日 (75.0%) 月に数回 (25.0%) 【N=4】	8時台 (45.0%) 7時台 (32.5%) 【N=40】	18時台 (32.5%) 19時台 (25.0%) 【N=40】	9時台 (50.0%) 6時台 (25.0%) 【N=4】	18時台 (50.0%) 20時台 (25.0%) 【N=4】	自家用車(自分で運転) (80.0%) 自転車・徒歩 (7.5%) 【N=40】	自家用車(自分で運転) (75.0%) 鉄道(乗り継ぎ) (25.0%) 【N=4】

- 【参考:市平均】  
65歳以上の交通手段  
●自家用車(自分で運転)  
買物時:54.9%  
通院時:47.9%  
●自家用車(家族の送迎)  
買物時:16.4%  
通院時:20.2%  
●自転車・徒歩  
買物時:8.9%  
通院時:2.3%

(N=213)

アンケート調査における意見・要望等

- ・運転が出来なくなった方に対して、タクシー助成をすれば良いと思う。
- ・本楯地区は道路幅が狭く、バス等の大型車両は入れないため自家用車の利用が主となるが、自分で運転できなくなったときが不安。

意見交換会における意見・要望等

- ・フローラSAGAEが休館の時には、近くに代わりとなるスーパーが無い。
- ・昼の時間帯に寒河江市立病院へ向かうバスが無い。
- ・移動に関して、あまり困っていないと感じている人が全体の9割を占める。

当該地区における課題

- ・中心部付近の地区であるため、スーパーや商業施設が比較的近くに立地しており、交通手段も自転車・徒歩の割合が高いが、冬期の交通手段の確保が必要。
- ・複数のバス路線や鉄道など、公共交通機関が充実しているが、交通手段は全体の約8割及び65歳以上の約7割は自家用車(自分で運転)であり、公共交通への依存度は低い。

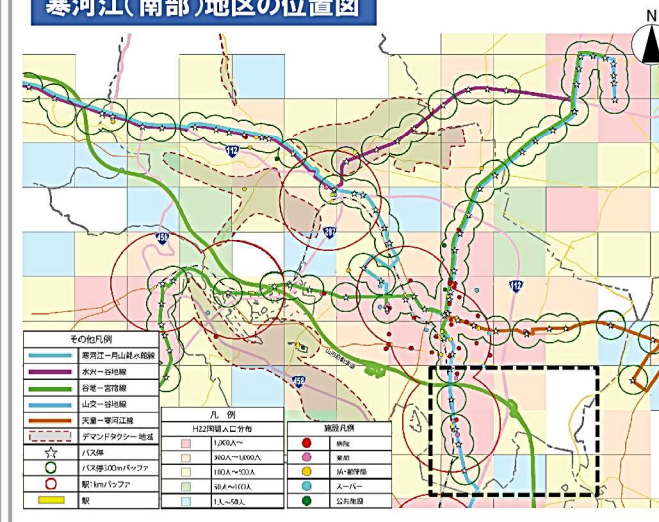
4-4-3. 寒河江（南部）地区

寒河江(南部)地区の概要

総人口(市全体に占める割合)	5,163人 (12.2%)	総世帯数(市全体に占める割合)	1,645世帯 (12.2%)
介護認定者数 (当地区に占める割合)	219人 (4.2%) 市平均:4.5%	独居老人世帯数 (当地区に占める割合)	119世帯 (7.2%) 市平均:7.7%
身障・療育・精神手帳所持者数 (当地区に占める割合)	248人 (4.8%) 市平均:5.1%		
主要施設			
買い物	ヤマザワ寒河江プラザ		
病院	寒河江の庄病院、スマイルレディースクリニック		
金融機関等	JAさがえ西村山南部支所		
公共施設	南部地区公民館		
学校	南部小学校		
その他	-		
公共交通機関			
種別	路線名	運行主体	平日 土日
鉄道	JR左沢線	JR東日本	36 36
路線バス	山交-谷地線	山交バス	48 25

- ・当該地区は寒河江市の南部、中山町との市境に位置する。
- ・最寄のスーパーは寒河江横道のヤマザワ寒河江プラザ店である。
- ・地区内には南寒河江駅があり、路線バスも山交-谷地線が運行しており、寒河江中心部への移動の際には、路線バスの利用が可能である。

寒河江(南部)地区の位置図



地区別アンケート調査結果

目的	目的地(市内)	目的地(市外)	頻度		時間帯				交通手段	
			全体	65歳以上	全体		65歳以上		全体	65歳以上
買物	ヤマザワ (70.8%) おーばん (32.3%) 【N=65】	イオン天童店 (22.2%) 山形市 (16.7%) 【N=65】	週1~2回 (36.9%)	週1~2回 (36.9%)	10時台 (16.7%)	18時台 (12.1%)	10時台 (29.2%)	16時台 (16.7%)	自家用車(自分で運転) (72.7%)	自家用車(自分で運転) (50.0%)
			週3~4回 (33.8%) 【N=65】	週3~4回 (33.8%) 【N=24】	8時台 (12.1%)	17時台 (10.6%)	14時台 (12.5%)	12時台 (12.5%)	自家用車(家族の送迎) (12.1%)	自家用車(家族の送迎) (29.2%) 【N=24】
通院	寒河江市立病院 (18.9%) 折居内科医院 (16.2%) 【N=37】	山形県立中央病院 (28.0%) 山形県立河北病院 (16.0%) 【N=25】	月1回 (62.2%)	月1回 (65.2%)	8時台 (21.3%)	12時台 (21.3%)	9時台 (30.0%)	11時台 (25.0%)	自家用車(自分で運転) (66.0%)	自家用車(自分で運転) (48.0%)
			月2~3回 (10.8%) 【N=37】	月2~3回 (10.8%) 【N=23】	9時台 (21.3%)	11時台 (17.0%)	10時台 (25.0%)	12時台 (25.0%)	自家用車(家族の送迎) (19.1%)	自家用車(家族の送迎) (32.0%) 【N=25】
通勤	中央工業団地 (10.6%) 寒河江 (10.6%) 【N=23】	山形市 (40.0%) 天童市 (13.3%) 【N=15】	ほぼ毎日 (78.9%)	ほぼ毎日 (57.1%)	8時台 (34.2%)	18時台 (34.2%)	9時台 (30.0%)	17時台 (50.0%)	自家用車(自分で運転) (89.5%)	自家用車(自分で運転) (85.7%)
			【N=38】	【N=7】	7時台 (31.6%)	17時台 (18.4%)	10時台 (25.0%)	18時台 (33.3%)	自転車・徒歩 (5.3%)	自転車・徒歩 (14.3%) 【N=7】

【参考:市平均】  
65歳以上の交通手段  
●自家用車(自分で運転)  
買物時:54.9%  
通院時:47.9%  
●自家用車(家族の送迎)  
買物時:16.4%  
通院時:20.2%  
●自転車・徒歩  
買物時:8.9%  
通院時:2.3%

(N=213)

アンケート調査における意見・要望等

- ・南部地区はスーパーが無く、買物に不便で、特に冬は困る。
- ・電車と違い、バスは時刻や料金がわかりづらいため、なかなか利用する気にならない。
- ・子供が市民プールや図書館に行ける手段があれば良い。
- ・高齢者が寒河江市立病院等へ行く交通手段が無い。タクシーを利用しているようだが、料金が高いので、市が負担する制度があれば良い。
- ・市内を循環するバスの運行は必要だと思う。

意見交換会における意見・要望等

- ・買物は寒河江中心部のヤマザワかおーばんへ行く事がほとんどである。
- ・バス路線があるが、バス停が一つしかなく、歩くには遠い距離があるので不便である。
- ・鉄道もバスと同様に駅が遠く、鉄道と駅があるからと言っても、移動が楽であるとは感じていない。
- ・市街地までの移動でタクシーを使うと片道1,200~1,700円程度かかる。料金が低い。

当該地区における課題

- ・買物時、通院時は中心部への移動が必要となり、生活における中心部への依存度が高い地域。
- ・買物時や通院時における、65歳以上の交通手段として、家族の送迎の割合が市平均より高く、家族への負担が大きい。
- ・当地区の人口が密集する寒河江街道沿いには、山交-谷地線が運行しているが、住民(特に高齢者)の中にはバス停までの距離が遠いと感じ、利用していない方がいる。

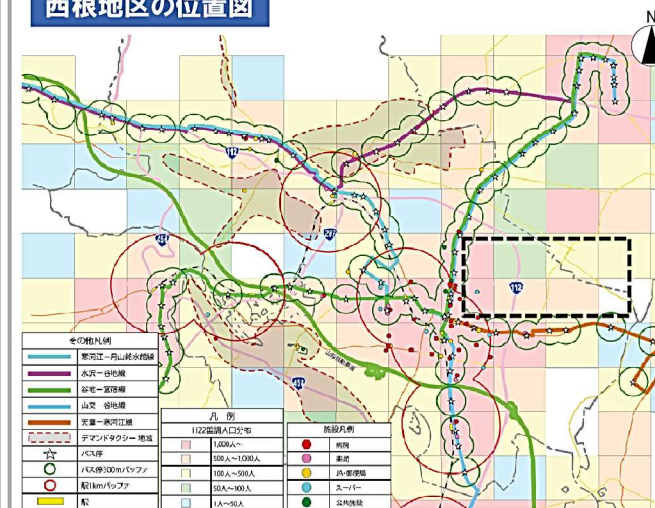
## 4-4-4. 西根地区

## 西根地区の概要

総人口(市全体に占める割合)	4,712人(11.1%)	総世帯数(市全体に占める割合)	1,405世帯(10.4%)
介護認定者数 (当地区に占める割合)	191人(4.1%) 市平均:4.5%	独居老人世帯数 (当地区に占める割合)	93世帯(6.6%) 市平均:7.7%
身障・療育・精神手帳所持者数 (当地区に占める割合)	210人(4.5%) 市平均:5.1%		
主要施設			
買い物	マックスバリュ東北寒河江中央店		
病院	大原医院		
金融機関等	寒河江北郵便局、JAさがえ西村山西根支所、JAさがえ西村山日田出張所		
公共施設	寒河江市民体育館、寒河江市文化センター		
学校	西根小学校、陵東中学校		
その他	-		
公共交通機関			
種別	路線名	運行主体	平日 土日
路線バス	天童-寒河江線	天童市(市営バス)	13 13
路線バス	谷地-宮宿線	山交バス	14 8
路線バス	山交-谷地線	山交バス	29 19

- ・当該地区は寒河江市の東部に位置し、河北町、天童市と隣接する。
- ・最寄のスーパーはほなみ2丁目のマックスバリュ寒河江中央店である。
- ・公共交通機関は路線バスが3路線運行するが、居住地域によってはバス停までの距離が500m以上となることがある。

## 西根地区の位置図



## 地区別アンケート調査結果

目的	目的地(市内)	目的地(市外)	頻度(市内)		時間帯				交通手段	
			全体	65歳以上	全体		65歳以上		全体	65歳以上
買物	マックスバリュ(80.6%) ヤマザワ(40.3%) 【N=62】	イオン天童店(23.1%) 山形市(20.5%) 【N=39】	週1~2回(41.9%) 【N=62】	週3~4回(45.0%) 【N=20】	10時台(20.6%) 9時台(11.1%) 【N=63】	18時台(14.3%) 11時台(12.7%) 【N=63】	10時台(50.0%) 9時台(12.5%) 【N=16】	11時台(42.9%) 12時台(14.3%) 【N=24】	自家用車(自分で運転)(82.5%) 自家用車(家族の送迎)(4.8%) 【N=63】	自家用車(自分で運転)(65.0%) 自転車・徒歩(20.0%) 【N=20】
			月1回(63.0%) 月2~3回(25.9%) 【N=27】	月1回(63.2%) 月2~3回(26.3%) 【N=19】	10時台(20.6%) 8時台(17.6%) 【N=34】	11時台(23.5%) 12時台(14.7%) 【N=34】	8時台(30.8%) 9時台(30.8%) 【N=13】	11時台(46.2%) 12時台(23.1%) 【N=13】	自家用車(自分で運転)(67.6%) 自家用車(家族の送迎)(14.7%) 【N=34】	自家用車(自分で運転)(65.0%) 自家用車(家族の送迎)(25.0%) 【N=25】
通院	大原医院(33.3%) 寒河江市立病院(14.8%) 【N=27】	山形県立河北病院(19.0%) 山形済生病院(14.3%) 【N=21】	月1回(63.0%) 月2~3回(25.9%) 【N=27】	月1回(63.2%) 月2~3回(26.3%) 【N=19】	10時台(20.6%) 8時台(17.6%) 【N=34】	11時台(23.5%) 12時台(14.7%) 【N=34】	8時台(30.8%) 9時台(30.8%) 【N=13】	11時台(46.2%) 12時台(23.1%) 【N=13】	自家用車(自分で運転)(67.6%) 自家用車(家族の送迎)(14.7%) 【N=34】	自家用車(自分で運転)(65.0%) 自家用車(家族の送迎)(25.0%) 【N=25】
			中央工業団地(10.6%) 寒河江(10.6%) 【N=21】	山形市(47.4%) 天童市(21.1%) 【N=19】	ほぼ毎日(90.0%) 【N=40】	【N=0】	8時台(42.5%) 7時台(20.0%) 【N=40】	18時台(27.5%) 19時台(17.5%) 【N=40】	【N=0】	【N=0】

- 【参考:市平均】  
65歳以上の交通手段  
●自家用車(自分で運転)  
買物時:54.9%  
通院時:47.9%  
●自家用車(家族の送迎)  
買物時:16.4%  
通院時:20.2%  
●自転車・徒歩  
買物時:8.9%  
通院時:2.3%

(N=213)

## アンケート調査における意見・要望等

- ・JR左沢線と山交バスの乗り継ぎが悪い。
- ・バスの料金や時刻がわかりづらいので、明確にしてほしい。(そうすれば利用を検討する)
- ・短い路線を循環するようなバスがあれば良い。
- ・駅の目の前にバス停があるので、出来れば利用したいが、待ち時間が長く大変で使わない。
- ・高齢者のために、少人数用のバスを運行してほしい。
- ・町医院、スーパーを循環するバスがほしい。

## 意見交換会における意見・要望等

- ・買物はおーばん、ヤマザワに行く事が多く自転車で行ける距離である。
- ・冬期には自転車が利用できないため、家族の送迎に頼っている。
- ・今はまだ自分で移動できるが、5年10年先を考えると移動手段に不安がある。

## 当該地区における課題

- ・当地区は天童-寒河江線が運行するが、国道112号沿線や北東部付近など、地区の大半は交通空白地帯となっている。(日曜日は天童市営バスが運休のため、公共交通は全く無い)
- ・スーパー、病院等の施設が無く、買物時・通院時には中心部への交通手段が必要不可欠な地区。
- ・中心部から2~4km程の距離であることから、65歳以上の交通手段の20%は自転車・徒歩であるが、冬期の積雪時には代替移動手段が必要となる。